



第1回

医療機器開発シンポジウム

— 大学発新規医療機器の社会実装に挑む —

社会実装を目指した医療機器の開発を実践している医師・研究者の先生方から
開発・事業化の進め方、日常生活におけるタイムマネジメント、医工連携の実践、
事業のエグジット等についてご講演いただきます。

より多くのアカデミア関係者・学生の皆様に医療機器開発に興味を持っていただき、
どのように実践していくかのヒントを得ていただくことを期待しております。

プログラム

13:00 開会挨拶

北川 雄光 慶應義塾大学病院 病院長

13:05 【第一部】慶應義塾大学発 社会実装に向けた医療機器開発

座長: 谷下 一夫

一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ 理事長



◆慶應義塾大学における橋渡し研究支援

副島 研造

慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 副センター長



◆「PMDAからの提言～承認審査からみた医療機器開発のポイント～」

白土 治己

独立行政法人医薬品医療機器総合機構

医療機器審査第一部 審査役



◆「医療機器と再生医療の融合を目指して ―外科医が担う役割―」

八木 洋

慶應義塾大学医学部外科(一般・消化器) 専任講師

MatriSurge株式会社代表取締役



◆「MRI/汗中乳酸センサを用いた医療ヘルスケア機器開発」

中島 大輔

慶應義塾大学医学部整形外科 特任助教

株式会社グレースイメーシング代表取締役CEO



◆「インプラント透析システム 患者QOLの劇的向上へ」

三木 則尚

慶應義塾大学理工学部機械工学科 教授

株式会社LTaste取締役

15:00 Coffee Break

15:15 【第二部】特別公演 医師が処方する治療用アプリ

～日本で初となるデジタル療法の創出に向けて～



座長: 副島 研造

演者: 佐竹 晃太

株式会社キュア・アップ代表取締役CEO

15:35 【第三部】高度管理医療機器開発と事業化の実践

座長: 池野 文昭 スタンフォード大学バイオデザインプログラムディレクター



◆「AMEDからの提言～医療機器開発における研究開発マネジメントについて～」

鈴木 友人

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

産学連携部医療機器研究課 調査役



◆医工連携によるアカデミア発クラスIV医療機器開発・事業化の成功例

長谷部 光泉

東海大学医学部医学科 専門診療学系画像診断学領域 教授



正林 和也

株式会社Biomedical Solutions代表取締役社長

◆総合討論

17:15 閉会挨拶

佐谷 秀行 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター センター長

17:30 情報交換会

日時: 2019年9月14日(土)

13:00~17:20 / 12:30開場

(17:30~18:30 情報交換会)

場所: 慶應義塾大学医学部

総合医科学研究棟1階ラウンジ

住所: 東京都新宿区信濃町35



交通アクセス:

◇信濃町駅(JR総武線)徒歩7分

◇国立競技場駅(都営地下鉄大江戸線)A1出口 徒歩7分

対象: 医療機器開発に興味のある研究者・学生・

アカデミア関係者、企業

参加: 無料(懇親会も無料)・要申込

参加申し込みは、
下記URLまたはQRコードより、
本イベント参加フォームへアクセスして
お申込み下さい。



<https://www.ctr.hosp.keio.ac.jp/forms/aform044.html>

定員: 70名

主催: 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター

トランスレーショナルリサーチ部門(TR部門)

お問合せ先

慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター TR部門

TEL: 03-5363-3474 (内線63744)

Mail: apply-tr@ctr.hosp.keio.ac.jp

シンポジウムURL:

<https://www.ctr.hosp.keio.ac.jp/news/003054.html>